

庄原実業高校「環境工学科」へのⅡ学期分の森林環境教育を行いました

令和2年10月26日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、広島県立庄原実業高校「環境工学科」の環境保全類型コースで林業を学ぶ生徒を対象に、継続した森林環境教育を昨年度から実施しています。

10月21日1年生33名への森林環境教育では、「森林の持つ多面的機能」と「森林施業」をテーマに講義しました。1年生への森林環境教育は今回が初めてで、卒業するまでの3年間で合計8回の森林環境教育を行います。また、Ⅲ学期には事業地見学を予定しており、早い段階から実際の林業現場を観る、知ることで、森林・林業への理解を深めていくこととしています。



環境保全類型コースの生徒(1年生)に講義する署長

また、10月23日には2年生23名へ「森林・林業・木材産業の現状」と「新たな木材利用」をテーマに森林環境教育を行いました。テーマは、学校で学ぶ専門教科を補完する分野ですが、日頃目にするデータなどを用いて、説明しました。



講義を聴く環境保全類型コース(2年生)の生徒

広島北部森林管理署では、教育機関における森林環境教育を通じた民有林の人材育成に引き続き積極的に取り組んでいきます。